

介護 DX(介護情報基盤との連携)に伴う
ベンダテスト(オンライン・オフライン)計画書

令和 8 年 3 月

国 民 健 康 保 険 中 央 会

目次

1. ベンダテスト(オフライン・オンライン)の概要	3
1-1.概要及び目的	3
1-2.テスト実施者	3
1-3.テストの申込受付期間および実施期間	3
1-4.テスト申し込み方法.....	4
1-5.テスト申し込みに当たってのお問い合わせ先	4
2.申し込み後の準備・調整期間について	5
3.ベンダテスト(オフライン)の実施について.....	5
3-1.テスト方法について	5
3-2.テストデータについて.....	6
3-3.テスト実施に係る留意事項.....	7
3-4.テスト対象インタフェース.....	7
3-5.テストシナリオ	9
4.ベンダテスト(オンライン)の実施について.....	10
4-1.テスト方法について	10
4-2.テストデータについて.....	11
4-3.テスト実施に係る留意事項.....	11
4-4.テスト対象インタフェース.....	12
4-5.各連携方式の確認範囲	13

1. ベンダテスト(オフライン・オンライン)の概要

1-1.概要及び目的

ベンダテストは、貴社開発の介護保険事務システムの品質保証において、介護情報基盤との連携に支障がないことを確認するために実施する。原則として、オフラインでのテストを行った後にオンラインでのテストを行うこととする。

ベンダテスト(オフライン)は、介護保険事務システムが厚生労働省事務連絡にて示されている「介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書」(<https://www.wam.go.jp/gyoseiShiryou/detail-list?bun=020050030>)に基づいて IF ファイル(CSV)を正しく作成・取り込みできるかを主な確認観点としている。

具体的には、介護保険事務システムと介護情報基盤が未接続(オフライン)の状態において、テストシナリオ記載のデータパターンに基づいて作成した IF ファイルをメールにより授受し、当該 IF が正常に取り込まれることを確認する。

ベンダテスト(オンライン)は、介護保険事務システムが厚生労働省事務連絡にて示されている「介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書」(<https://www.wam.go.jp/gyoseiShiryou/detail-list?bun=020050030>)に基づいて介護保険事務システムが LGWAN を経由し、介護情報基盤と正常にリクエストの送受信が実施できるかを主な確認観点としている。

具体的には、介護保険事務システムと介護情報基盤(検証環境)を LGWAN 経由で接続し、API/バッチ連携によるリクエスト/レスポンスを処理し、双方の送受信処理が正常に行われることを確認する。なお、画面連携は、初期セットアップにおける事前準備作業での確認を行う予定であるため、ベンダテスト(オンライン)での確認は行わない。

1-2.テスト実施者

テスト参加の介護保険事務システム開発ベンダ(以後、参加ベンダとする)、国民健康保険中央会(以後、本会とする)および介護情報基盤の構築・運用事業者(以後、介護情報基盤事業者とする)にて実施する。

1-3.テストの申込受付期間および実施期間

○ 申込受付期間

令和 8 年 3 月 30 日(月) ～ 令和 8 年 12 月 25 日(金)

○ 実施期間

- オフラインテスト期間:3 週間

令和 8 年4月 20 日(月)～令和 9 年 3 月 19 日(金)まで各月曜開始

- オンラインテスト期間:2 週間

令和 8 年7月6日(月)～令和 9 年 3 月 19 日(金)まで各月曜開始

○ 留意事項

- 申込後、テスト実施日までに 2 週間の準備・調整期間を設けたうえでテストを実施する。テスト実施期間は、オフラインは 3 週間、オンラインは 2 週間とする。詳細は、「別添 1_テスト時のコミュニケーションイメージ(オフライン・オンライン)」を参照すること。
- 年末年始、土日・祝祭日はテストを実施しない。

1-4.テスト申し込み方法

テストに参加希望のベンダは、「介護 DX(介護情報基盤との連携)に伴うベンダテスト(オフライン・オンライン)申込フォーム」から必要事項を記入のうえ申し込むこと。

1-5.テスト申し込みにあたってのお問い合わせ先

本テストへの参加申込にあたり、不明点等あれば介護情報基盤ポータルのお問い合わせフォーム(<https://www.kaigo-kiban-portal.jp/inquiry/input#form>)から連絡すること。

2.申し込み後の準備・調整期間について

図1の流れに沿って、参加ベンダ・介護情報基盤事業者(本会)にてテスト実施に向けた調整を行う。主にスケジュール調整、テスト対象 IF の確定、疑問点の解消等を実施する。

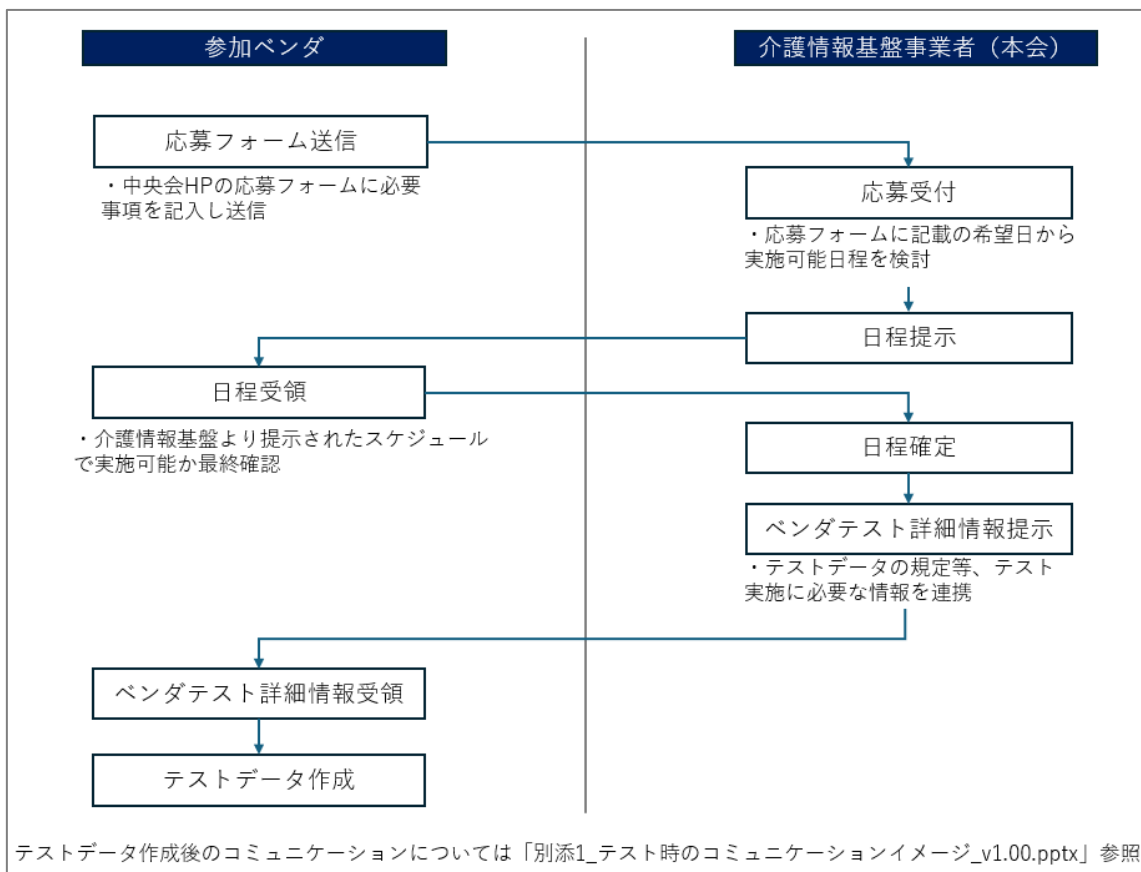


図 1 申込後の流れ (イメージ)

3.ベンダテスト(オフライン)の実施について

3-1.テスト方法について

オフラインテストは以下 2 つの作業を後述のテストシナリオに沿って実施する。

① 介護情報基盤への IF(テストデータ) 取込

参加ベンダが準備・作成した IF(テストデータ)をメールにて介護情報基盤事業者へ送付する。介護情報基盤事業者は、当該 IF について介護情報基盤(検証環境)への取り込み処理を実施する。取り込み結果は参加ベンダへ連絡する。

② 介護保険事務システムへの IF(テストデータ) 取込

介護情報基盤事業者が介護情報基盤から IF (テストデータ) を取得し、メールにて参加ベンダへ送付する。参加ベンダは当該 IF について、介護保険事務システムへの取り込み処理を実施する。取り込み結果を介護情報基盤事業者へ連絡する。

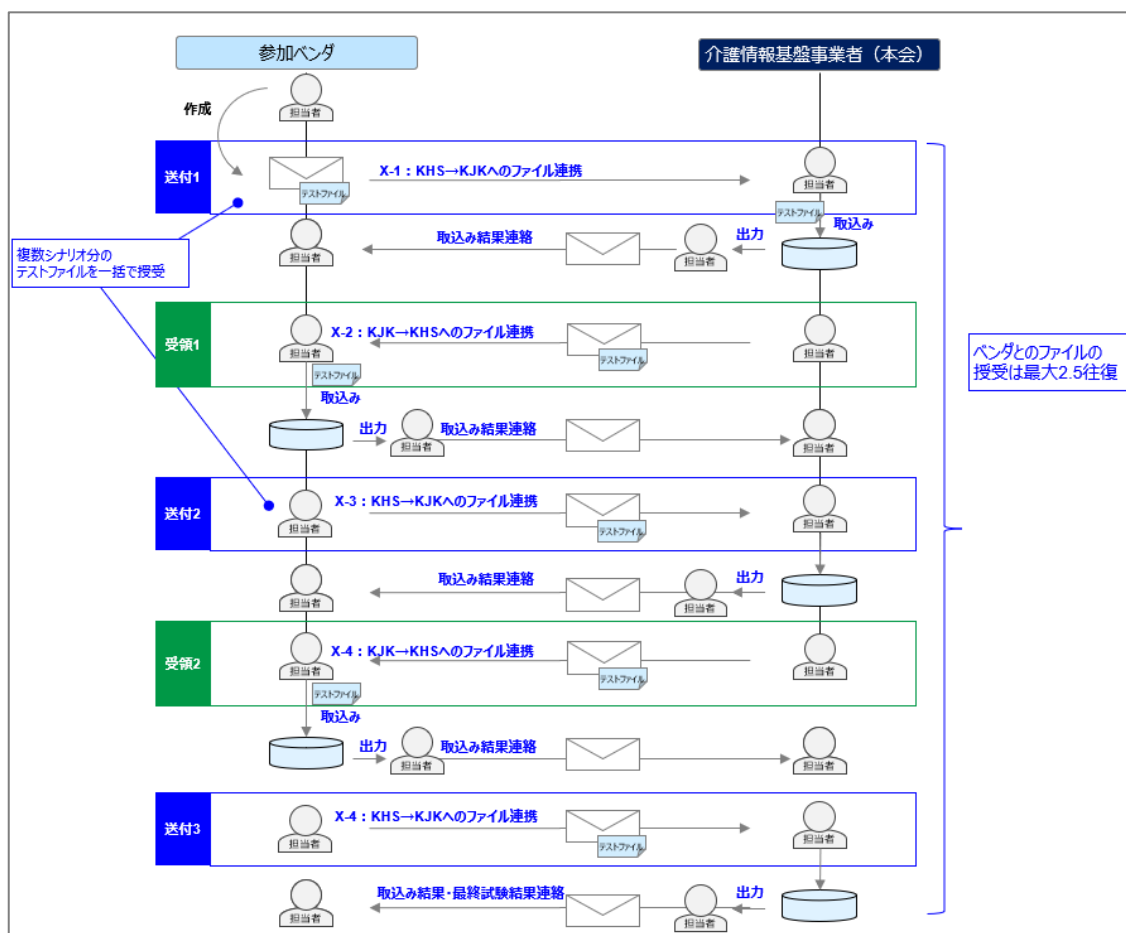


図 2 ベンダテスト(オフライン)の実施方法

3-2.テストデータについて

○ テストデータの規定・ツール提供について

介護情報基盤事業者から、参加ベンダ宛て(テスト申込時に登録されたメールアドレス宛て)に以下のデータを送付する。

- テストデータの規定(使用する保険者番号・被保険者番号等)
- IF 事前確認ツール

○ 参加ベンダの対応

テスト実施日までに、上記テストデータの規定・ツールを用いてテストデータの準備を進めていただく。

○ テストデータ作成のルール

介護情報基盤事業者が規定した項目以外は、参加ベンダ側で任意に設定する。ただし、以下の条件を満たすこと。

- 実在する個人情報は一切使用せず、参加ベンダにおいて架空の被保険者によるテストデータを準備すること。
- 保険者番号・被保険者番号は、介護情報基盤事業者が指定するものを使用すること。
- テストデータの規定(具体的な値等)のない IF 項目については、システム上の整合性が保たれ、かつ「介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書」に準拠した値を設定すること。

3-3.テスト実施に係る留意事項

実施にあたっての留意事項を以下に記載する。

- 参加ベンダが開発した介護保険事務システムにより作成されたIF(テストデータ)については、介護情報基盤事業者への送付に先立ち、同事業者が提供する IF 事前確認ツールを用い、介護情報基盤において適切に取り込み可能な形式であることを必ず事前に確認すること。
- 本テストは、市町村(保険者)の本番業務に影響を与えない環境で実施するものとし、参加ベンダが社内で保有する開発環境・テスト環境等を使用すること。
- IF(テストデータ)の授受に当たっては、テスト申込時に記載いただいたメールアドレスを使用すること。
- テスト可能なIFは下記「テスト対象インタフェース」を参照すること。記載されている全ての IF についてテスト実施可能だが、被保険者のデータバリエーションについては全網羅するものではない。

3-4.テスト対象インタフェース

テスト対象のインタフェースを以下表に示す。参加ベンダが開発対象外としている IF についてはテスト対象外とする。対象 IF については、申込後の調整期間中に確定させる。

表 1 ベンダテスト(オフライン)対象のインターフェース一覧

項番	外部インターフェース名
1	介護被保険者番号等情報連携
2	証情報連携
3	審査会資料連携
4	要介護認定情報(全量・日次)連携
5	要介護認定進捗状況情報連携
6	主治医意見書等情報(提供用)連携
7	減免減額認定証情報連携
8	負担割合証情報連携
9	居宅サービス計画作成・介護予防サービス計画作成(介護予防ケアマネジメント) 依頼届出情報連携
10	介護被保険者証利用情報連携
11	介護被保険者証利用情報参照
12	包括同意情報の連携
13	包括同意情報の取得
14	介護保険住宅改修費利用情報の連携
15	介護保険福祉用具購入費利用情報の連携

3-5. テストシナリオ

テストシナリオを下図に示す。各シナリオの概要および具体的な進め方については「別添 2. ベンダテスト(オフライン)シナリオ概要」を参照すること。

表 2 ベンダテスト (オフライン) シナリオ一覧

[illegible]

4.ベンダテスト(オンライン)の実施について

4-1.テスト方法について

ベンダテスト(オンライン)では、ベンダテスト(オフライン)で行うシナリオテストは行わず、以下3つの作業をインタフェースごとに実施する。

① 介護情報基盤へのリクエスト送信

参加ベンダがバッチ/APIの実行連絡を行った後、準備・作成したテストデータを使用しバッチ/APIを実行する。

② 介護情報基盤のリクエスト確認/レスポンス送信

介護情報基盤事業者が介護保険システムからのリクエストを確認する。リクエストが届いていない場合は参加ベンダへ連絡する。正常にリクエストを確認できた場合は介護保険システムへレスポンス確認を依頼する。

③ 介護保険システムのレスポンス確認

介護情報基盤からIF(テストデータ)を取得し、メールにて参加ベンダへ送付する。参加ベンダは当該IFについて、介護保険事務システムへの取り込み処理を実施する。取り込み結果を介護情報基盤事業者へ連絡する。

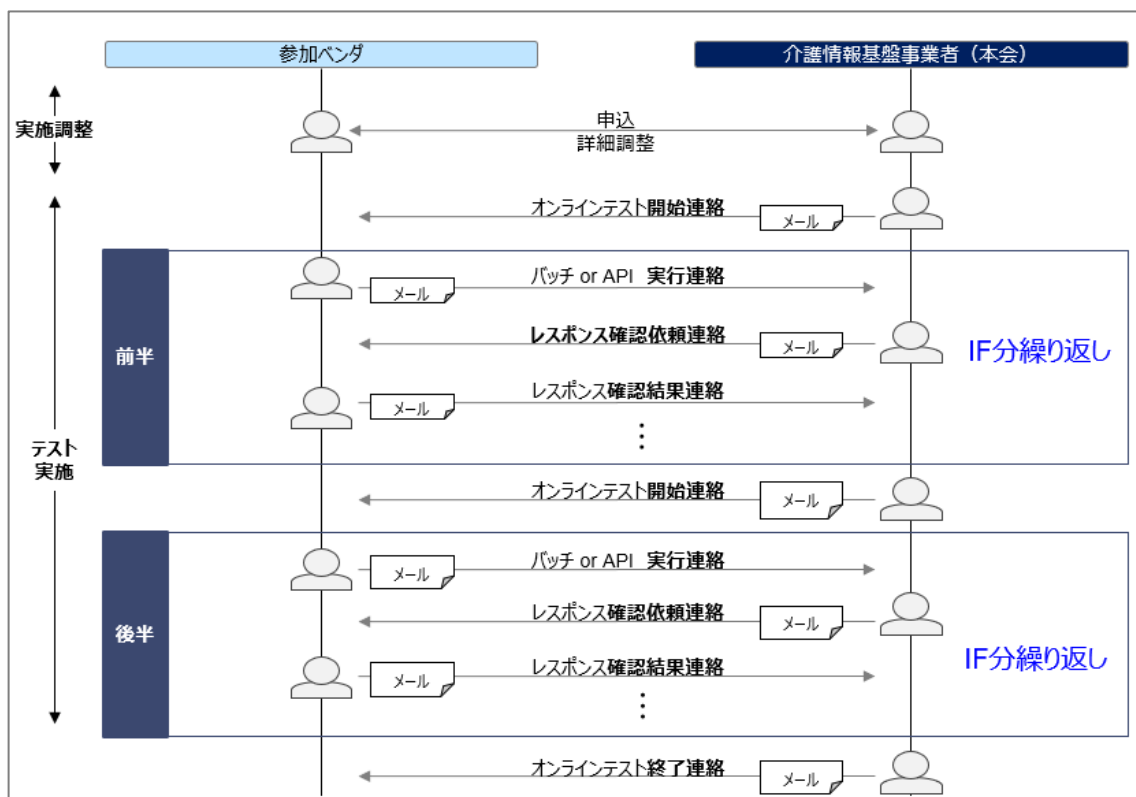


図3 テストの実施方法

4-2.テストデータについて

○ テストデータの規定・トークン・接続情報について

参加ベンダはオンラインテストを実施する自治体が確定したら、介護情報基盤事業者に連絡する。介護情報基盤事業者は、参加ベンダ向けにテストデータの規定(使用する保険者番号・被保険者番号等)を送付し、オンラインテストを実施する自治体宛てに以下の情報を送付する。

- テスト用自治体トークン
- 接続情報(URL 等)

○ 参加ベンダの対応

テスト実施日までに、LGWAN 環境からのアクセス許可設定およびトークンや接続情報の設定、テストデータの準備を進めていただく。

○ テストデータ作成のルール

原則として、登録要求に使用するテストデータは、ベンダテスト(オフライン)で問題なしと確認されたファイルを基に、オンラインテスト用の保険者番号・被保険者番号へ変更して作成する。ベンダテスト(オフライン)に参加していないベンダは、参加ベンダ側で任意に項目を設定することが可能だが、以下の条件を満たすこと。

- 保険者番号・被保険者番号は、介護情報基盤事業者が指定するものを使用すること。
- 実在する個人情報は一切使用せず、参加ベンダにおいて架空の被保険者によるテストデータを準備すること。
- IF 項目については、システム上の整合性が保たれ、かつ「介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書」に準拠した値を設定すること。

4-3.テスト実施に係る留意事項

実施にあたっての留意事項を以下に記載する。

- ベンダテスト(オンライン)実施前にベンダテスト(オフライン)を実施し、テストデータの妥当性を確認しておくこと。ベンダテスト(オンライン)の確認範囲はリクエスト/レスポンスの正常確認のみであるため、データバリエーションの確認は実施しない。

- 本テストは、LGWAN 環境を用いることとなるが、市町村(保険者)の本番業務に影響を与えない環境を参加ベンダにて用意すること。
- LGWAN 環境の利用にあたっては、利用する自治体と事前に協議の上申し込みを行うこと。
- API/バッチ実行にあたっては、テスト申込時に記載いただいたメールアドレスを使用し連絡すること。
- テスト可能なIFは下記「テスト対象インタフェース」を参照すること。

4-4.テスト対象インタフェース

テスト対象のインタフェースを以下表に示す。参加ベンダが開発対象外としている IF についてはテスト対象外とする。参加ベンダが希望するテスト対象 IF については、申込フォームにて選択する。

表 3 ベンダテスト(オンライン)対象のインタフェース

項番	外部インタフェース名
1	介護被保険者番号等情報連携
2	証情報連携
3	審査会資料連携
4	要介護認定情報(全量・日次)連携
5	要介護認定進捗状況情報連携
6	主治医意見書等情報(提供用)連携
7	減免減額認定証情報連携
8	負担割合証情報連携
9	居宅サービス計画作成・介護予防サービス計画作成(介護予防ケアマネジメント) 依頼届出情報連携
10	介護被保険者証利用情報連携
11	介護被保険者証利用情報参照
12	包括同意情報の連携
13	包括同意情報の取得
14	介護保険住宅改修費利用情報の連携
15	介護保険福祉用具購入費利用情報の連携
16	登録結果返却

4-5.各連携方式の確認範囲

ベンダテスト(オンライン)では、介護保険システムと介護情報基盤の接続部分のみ確認を行う。テストデータの登録処理や、自治体(管理者)へのメール送信は行わない。詳細については「別添 3_ベンダテスト(オンライン)の確認範囲」を参照すること。